

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「まごころ込めて」

思いつきをそれと軽んずるから、みすみす自らの成長や変革のチャンスを逃すことになる。

自分の意識の中に立ち現れたというのは、微かにしても自ら求めるものがあつたからであり、自分にできることだからである。しっかり掴んで、それを離すな。

自分の歩むべき道、その指針は、己自身の心の中に一瞬の閃光を放つ。

目下の行きがかりからする仕事でも、結局百年の後の為に子孫の代のためになる様にと、正直第一に心がけねばならぬ。 (「藪椿」8-1)